[理学療法学専攻]

【著書】

- 井上　悟（分担執筆）：関節リウマチ,骨関節理学療法学，標準理学療法学（編集：吉尾雅春・小柳磨毅）,医学書院，pp93-109.2013.2.
- 井上　悟（分担執筆）：臨床コラム,理学療法学概説，標準理学療法学（編集：内山　靖），医学書院，　2013.
- Yoshihiko Yabunaka: Chapter 5. Physiotherapy for Cerebral Palsy, Chapter 7-2. Basic Components of the Seating System, In Management of a Child with Cerebral Palsy for Physiotherapist Training of Trainers, The Ministry of Health, Myanmar ＆ Japan International Cooperation Agency (JICA) , 2012. pp93-171, pp285-286
- 藪中良彦（分担翻訳）：第 3 章「シミュレーションと計測」, 第 4 章「目標を明確にする」, 第 5 章「シーティングの一般的ガイドライン」（95～128 頁）：Jean Anne Zollars 著, 上杉雅之監訳：イラストでわかるスペシャルシーティング　姿勢評価アプローチ．医歯薬出版株式会社，2012

【原著論文】

- 石倉　隆，岩田　篤，牧之瀬一博：脳卒中 ADL 予後評価セット―脳卒中リハビリテーションの根拠ある ADL 予後予測と目標設定のために―. 保健医療学雑誌, 3(1),1-16,2012.
- 岩田　篤，牧之瀬一博，石倉　隆，他：視床下部病変により生じたナルコレプシーが筋力増強運動の阻害要因となった 1 例．理学療法岡山，30・31,25-29,2012.
- 岩田　篤，牧之瀬一博，石倉　隆，他：フマル酸クエチアピンによるセロトニン受容体拮抗作用が姿勢調節障害の誘因となった 1 例．理学療法岡山，30・31,30-34,2012.
- 牧之瀬一博，岩田　篤，石倉　隆，他：理学療法士による臨床診断が予後予測に重要であった 2 症例．理学療法岡山，30・31,15-19,2012.
- 小柳磨毅、境　隆弘　他 2 名：学校スポーツにおける外傷・障害予防の取り組み．臨床スポーツ医学，29，38－43，2012.
- 松村純，横川正美，間所祥子，森健太郎，三秋泰一，洲﨑俊男：端座位側方リーチ動作におけるリーチ距離と荷重量の関係，総合リハ 40(6), pp893-899, 2012.6
- 杉山恭二，木村佳記，佐藤睦美，小柳好生，小笠原一生，松尾知彦，前　達雄，北　圭介，中田　研：動的バランス評価方法の提案–片脚 drop jump 着地動作における重心動揺軌跡長の再現性．スポーツ傷害, 17, 40-42, 2012.
- Fujiwara K, Maeda K, Irei M, Mammadova A, Kiyota N,: Changes in event-related potentials associated with postural adaptation during floor oscillation. Neuroscience, 213, 122-32, 2012.
- Fujiwara K, Maekawa M, Kiyota N, Yaguchi C: Adaptation changes in dynamic postural control and contingent negative variation during backward disturbance by transient floor translation in the elderly. Journal od Physiological Anthropology, 31, 12, 2012.
- Fujiwara K, Kunita K, Kiyota N, Mammadova A, Irei M: The effects of neck flexion on cerebral potentials evoked by visual, auditory and somatosensory stimuli and focal brain blood flow in related sensory cortices. Journal of Physiological Anthropology, 31, 31, 2012.
- Keisuke Ohtsuki, Tetsu Suzuki: A comparison of the immediate changes in subjects with chronic Lower back pain effected by lower back pain exercises and direct stretching of the tensor fasciae latae, the hamstring and the adductor magnus. Journal of Physical Therapy Science, 24(1), 97-100, 2012.
- Keisuke Ohtsuki: The immediate changes in patients with acute exacerbation of chronic lower-back pain elicited by direct stretching of the tensor fasciae latae, the hamstrings and the adductor magnus. Journal of Physical Therapy Science 24(8), 707-709, 2012.
- 木村大輔,岩田　晃,川﨑　純,島　雅人,奥田邦晴：車いすテニスにおけるサーブ動作の運動学的解析．理学療法学,39(2),59-66,2012.

【総説】

- 佐藤秀紀：国際生活機能分類（ICF）とこれからのリハビリテーション, 日本保健福祉学会誌25周年記念特集号,特別論文,19(2),13-21,2013.6.
- 近藤和泉，藪中良彦，尾崎健一：36．運動発達，特集リハビリテーションQ ＆ A　V 脳性麻痺，その他の小児疾患，総合リハビリテーション．40（5），635-641，2012
- 松田淳子，阿部浩明，望月久，江口雅之，藪中良彦：理学療法効果の臨床的測定－脳卒中・神経筋・脊髄障害・発達障害の各領域から－．理学療法学，40(2)，156-158，2013
- 佐藤睦美：【運動連鎖からみた下肢スポーツ障害】 スポーツ外傷と下肢運動連鎖　膝スポーツ外傷と下肢運動連鎖．臨床スポーツ医学30(3)，235-239，2013.3.

【研究報告】
- 岩田　篤，石倉　隆，進藤亜紀：視床下部病変により生じたナルコレプシーが筋力増強運動の阻害要因となった 1 例．理学療法岡山，30，31 合併号，25 - 29，2012.
- 岩田　篤，牧之瀬一博，進藤亜紀，石倉　隆：フマル酸クエチアピンによるセロトニン受容体拮抗作用が姿勢調節障害の誘因となった 1 例．理学療法岡山，30，31 合併号，30- 34，2012.
- 牧之瀬一博，岩田　篤，石倉　隆：理学療法士による臨床診断が機能予後に重要であった 2 症例．理学療法岡山，30，31 合併号，15- 19，2012.
- 橋田剛一，井上悟，貴島晴彦，阿部和夫：髄腔内バクロフェン投与療法後の運動機能に対する評価．脳神経外科速報 23(6):676-681,2013.
- 島　雅人,奥田邦晴,片岡正教,安田孝志,村田臣徳,上田絵美,岡原　聡：知的障がいスポーツ選手の身体活動量に関する調査研究～スペシャルオリンピックス日本大阪の選手を対象に～．日本障害者スポーツ学会誌(21)，54-56，2012.

【講演】（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演）
- 石倉　隆：認知症と音楽療法．岡山県音楽療法研究会，川崎医科大学，倉敷市，2012. 8.
- 石倉　隆：脳画像から読み解く臨床的機能の診断．朝日リハセミナー，岡山市，2013. 3.
- 元脇周也、境　隆弘　他 7 名：投球動作からみた肩関節機能．第 47 回日本理学療法学術大会．運動器シンポジウム４　スポーツ理学療法研究部門　2012 年 5 月.
- 藪中良彦：理学療法効果の臨床的な測定―発達障害領域より―．第 47 回日本理学療法学術大会　大会指定企画神経系シンポジウム，神戸国際会議場，兵庫，2012.5.25.
- 藪中良彦：障がい者と健常者が一緒に暮らす共同体『ラルシュ』で暮らした 2 年半－新しい家族の創造－．中部大学「高齢者・学生世代間同居推進事業」，中部大学，愛知，2012.6.29.
- 藪中良彦：脳性麻痺児の粗大運動能力の評価と GMFCS について．NICU-INTACT フォローアップについての医師向け講習会[厚生労働科学研究費助成金（地域医療基盤開発推進研究事業）]，東京，2013.2.2.
- 大槻桂右: 心不全と運動療法の理論．きのこ老人保健施設，岡山県, 2013.1.11.
- 大槻桂右: 心不全と運動療法の実際．きのこ老人保健施設，岡山県, 2013.2.27.

【学会発表】
- 来田晃幸、境　隆弘　他 5 名：水平面画像を用いた投球動作時の肩甲帯と骨盤回旋の定量的評価．第 9 回肩の運動機能研究会．2012 年 10 月.
- 今高康詞、境　隆弘　他 6 名：水平面画像を用いた投球側上肢の定量評価．第 9 回肩の運動機能研究会．2012 年 10 月.
- 木村佳記、境　隆弘　他 8 名：等運動負荷の側方レッグリーチ動作における支持脚の運動解析．第 39 回日本臨床バイオメカニクス学会．2012 年 11 月.

- 元脇周也、境　隆弘　他 6 名：投球障害症例に対する投球フォーム指導の効果～骨盤と体幹回旋運動の定量的評価を用いた検証～. 第１８回スポーツ傷害フォーラム. 2013 年１月.
- 小川　卓也、境　隆弘　他 11 名：体幹後傾テストの ACL 不全評価に対する有用性の検討．第 18 回スポーツ傷害フォーラム．2013 年１月.
- 今井公一、中平　剛志、森田和弥、江橋　博
長期臥床者の重度関節拘縮と介護リスク　ー医療と介護の連携のためにー第 10 回日本介護学会　2012.9.
- 松尾知彦，天野　大，前　達雄，北　圭介，杉山恭二，木村佳記，佐藤睦美，史野根生，吉川秀樹，中田　研：スポーツ傷害に対する新しい治療法　全身振動(Whole Body Vibration)による動的バランス向上効果，JOSKAS，沖縄市，2012.7.
- 木村佳記，小柳磨毅，佐藤睦美，北　圭介，前　達雄，中田　研：半月板縫合術後の膝 引っかかり症状：エコー所見と理学療法. 整形外科リハビリテーション学会, 愛知, 2012.10.
- 加藤直樹，高木啓至，高島千敬，橋田剛一，佐藤睦美，坂井孝司，柴 田政彦：入院 CRPS 患者における関節可動域改善例と不変例の比較．第 5 回日本運動器疼痛学会，名古屋，2012.11.
- 木村佳記，中田　研，松尾知彦，前　達雄，米谷泰一，小柳好生，小笠原一生，杉山恭二，佐藤睦美，内田良平：ドロップジャンプ着地による動的バランス計測–着地直後の重心動揺軌跡解析．第 18 回スポーツ傷害フォーラム，大阪，2013.1.
- 清田直恵，藤原勝夫，矢口智恵：後方床移動外乱に伴う事象関連脳電位に対する異なる指反応課題挿入の影響．日本生理人類学会第 66 回大会，長崎市，2012. 6.
- Fujiwara K, Kiyota N, Yaguchi C, Mammadova M：Change in event-related potential associated with finger reaction to auditory signal just before postural disturbance with backward floor translation. the 19th Congress of the International Society of Electrophysiology & Kinesiology, Brisbane, Australia, 2012. 7.
- 清田直恵，藤原勝夫：後方床移動による姿勢外乱に伴う事象関連脳電位に対する異なる指反応課題挿入の影響．姿勢研究部会第 5 回研究会，金沢市，2012.9.
- 藤原勝夫，清田直恵，前川真姫：下肢および体幹をギプス固定しての一過性床振動時の姿勢制御．　日本健康行動科学会第 11 回大会，東京都，2012.10.
- 島　雅人, 奥田邦晴, 岩田秀治, 菊池昌代, 木村淳一, 長谷川珠華, 太田啓介, 森　優花, 西野伸一：重度知的障がい及び知的と身体機能との重複障がい者（児）に対する運動機能向上に向けたトレーニングの実践報告―理学療法士が手掛ける知的障がい者の社会参加支援活動―. 第47回日本理学療法学術大会. 兵庫. 2012.5.25.
- 上田絵美, 片岡正教, 安田孝志, 島　雅人, 村田臣徳, 岡原　聡, 谷村広大, 片岡愛美, 赤井友美, 奥田邦晴：頚髄不全損傷者の歩行周期に関する特徴について. 第47回日本理学療法学術大会. 兵庫. 2012.5.25.
- 上田絵美, 片岡正教, 安田孝志, 島　雅人, 村田臣徳, 岡原　聡, 谷村広大, 片岡愛美, 赤井友美, 奥田邦晴：不全頚髄損傷者の歩行動作における重心移動とその関連要因について. 第 34 回臨床歩行分析研究会定例会, 大阪, 第 34 回臨床歩行分析研究会定例会抄録集, p63,2012.11.
- 岡原　聡, 片岡正教, 島　雅人, 村田臣徳, 谷村広大, 安田孝志, 上田絵美, 下野貴之, 中村謙治, 奥田邦晴. 完全人工光型植物工場における高齢者や障がい者の就労の可能性に関する研究. 立位と座位作業の上肢・体幹筋の活動量の変化–. 第 60 回日本職業・災害医学会．2012.12.3.

【研究助成金】（文部科学省，厚生労働省，公的研究，その他助成金）
- 境　隆弘：平成 24 年度科学研究費助成事業（基盤(C)）　膝関節疾患に対する安全かつ有効な膝伸筋トレーニングの開発（代表研究者）
- 藪中良彦（分担研究者），他 4 名：脳性麻痺児の生活機能スキルのデータベース作成に

関する研究．独立行政法人日本学術振興会　挑戦的萌芽研究

- 藪中良彦（分担研究者），他 3 名：リハビリテーションにおける重症心身障害児（者）の評価指標の確立に向けた研究．独立行政法人日本学術振興会　基盤研究（C）
- 佐藤睦美，中村憲正，他 8 名：前十字靭帯不全膝の荷重スポーツ動作における運動解析．文部科学省基板研究(C)（代表研究者），平成 22 年度
- 木村佳記，佐藤睦美，他 6 名：可変ブレーキを用いた下肢荷重トレーニング機器の開発．文部科学省基板研究(C)（分担研究者），平成 22 年度
- 丸田千津，辻郁，吉田　文，山田隆人，足立一，島雅人，大友健治，井口知也 他：平成 24 年度文部科学省委託事業　成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進障害者スポーツの企画・運営を通した障害福祉分野の若手介護職員の人材育成システムの開発プロジェクト，障害者スポーツ分科会　委員．699 万円.

【学位取得・研究業績に対する受賞】

- 石倉　隆：保健医療学学会優秀論文賞．The prognosis of stroke patients regarding ADL based on the SIAS and FIMC preparation of the "Stroke ADL prognostic assessment set (SAPAS)"，2012．12.
- 藪中良彦：博士（医学），2013.3.7.
- 清田直恵：平成２４年度日本生理人類学会第 66 回大会優秀発表賞受賞「後方床移動外乱に伴う事象関連脳電位に対する異なる指反応課題挿入の影響」

【教育業績】（作成した教材，実践）

- 今井公一：他大学講義『理学療法の技術を学ぶ』県立広島大学（年 1 回）
- 大槻桂右: 循環器理学療法治療学における双方向性の講義形態の模索と実践，2012.10.
- 大槻桂右: 循環器理学療法領域のわかりやすい国家試験対策講義の実践. 2012.10.
- 大槻桂右: 理学療法評価学演習・実習の Basic OSCE の実践.2013.1.
- 大槻桂右: 江戸時代に出版された整骨範(整形外科最古の古典)の新解釈の試み. 2013.1.
- 石倉　隆，藪中良彦，岩田　篤，他：連携病院（研修センター）における臨床実習指導

【社会貢献活動】（社会活動，公的機関の委員，公開講座，出前講座）

- 石倉　隆：夢ナビライブ「脳傷害理学療法の変革」，大阪，2012.6.
- 石倉　隆：関西福祉科学大学研究倫理委員会学外委員
- 井上　悟：厚労省主催：理学療法士・作業療法士教員等長期講習会 運営委員,講師，2012.11.5-11.30
- 井上　悟：NPO 法人　リハビリテーション支援塾・おおさか（理事）
- 境　隆弘：一般社団法人　アスリートケア　理事（甲子園高校野球メディカルサポート事業）
- 境　隆弘：大阪保健医療大学公開講座（～子供から大人まで健康とスポーツを考える～生涯ランナー！健康的なランニングのために）2012 年 8 月
- 藪中良彦：（社）日本リハビリテーション医学会脳性麻痺リハビリテーションガイドライン策定委員会協力委員
- 藪中良彦：（社）大阪府理学療法士会障害児保健福祉部部長
- 藪中良彦：大阪市立平野特別支援学校療育相談相談員
- 佐藤睦美：一般社団法人アスリートケア　理事
- 佐藤睦美：関西テニス協会 医事委員
- 佐藤睦美：日本テニス協会登録トレーナー
- 佐藤睦美：硬式テニス全日本ジュニア選手権 大会トレーナー
- 佐藤睦美：跳躍動作のバイオメカニクス．医療法人宝持会池田病院リハビリテーショ

ン科勉強会，2012.10.15.

- 大槻桂右: 大阪保健医療大学公開講座　司会　2012.8.
- 島　雅人：スペシャルオリンピックス日本・大阪 Motor Activities Training Program(MATP)コーチ、スポーツプログラム委員
- 島　雅人：財団法人日本障害者スポーツ協会　日本パラリンピック委員会　平成 24 年度障害者競技スポーツ医・科学・情報サポート推進委員会　競技団体サポートスタッフ（動作解析）
- 島　雅人：第 14 回日本ボッチャ選手権大会　運営委員
- 島　雅人：（社）日本理学療法士協会　生活環境支援理学療法研究部会、平成 24 年度中級障がい者スポーツ指導者養成講習会　講師，2013.2.3.大阪市舞洲障害者スポーツセンター
- 島　雅人：知的障害者サッカー振興事業 Friendly Action 運営委員

【国際交流】

- 大槻桂右: 老人保健施設にスウェーデン理学療法士を招いての意見交換. 2012, 10.
- 辻郁，島　雅人，井口知也：カンボジア王国訪問．Unaccompanied Association Orphanage における体力測定の実施．2012.11.29～12.3
- 吉田文，足立一，島雅人:カンボジアへのスタディツアー運営補助　2013.2.28. ～3.5.

【その他】（新聞取材，掲載等）

- 井上　悟：ランチョンセミナー座長、脳卒中患者に対する装具の活用と運動療法（講師：増田知子）第 24 回大阪府理学療法士学会、2012.7.8.
- 井上　悟：ランチョンセミナー座長、膝靭帯損傷に対するリハ（講師：小柳磨毅）、第 28 回日本義肢装具学会学術集会、2012.11.11.
- 今井公一：被収容者に対する医療支援　大阪刑務所　医務部（月３回）

【所属学会・学会認定資格・学会役員等】

- 石倉　隆：日本理学療法士協会（査読委員，学術大会座長），日本臨床神経生理学会，理学療法科学学会，日本臨床バイオメカニクス学会，日本リハビリテーション医学会，臨床歩行分析研究会，中国・四国臨床神経生理懇話会，日本神経治療学会，日本神経学会、中国四国リハビリテーション医学研究会，Movement Disorder Society Japan，保健医療学学会（編集委員長）
- 井上　悟：（公社）日本理学療法士協会・学会（代議員）、（社）大阪府理学療法士会（理事）、（一社）日本義肢装具学会（評議員、学会誌委員），（一社）アスリートケア（監事）、スポーツ傷害フォーラム、日本体力医学会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本ペインクリニック学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、保健医療学会（理事）
- 境　隆弘：日本理学療法士協会，日本体力医学会員，日本臨床バイオメカニクス会員，保健医療学学会（役員）
- 佐藤秀紀：日本保健福祉学会（理事），日本保健福祉学会（学術誌編集委員），日本社会福祉学会（査読委員），日本老年社会科学学会（査読委員）
- 今井公一：日本理学療法士協会、日本体力医学会、日本矯正医学会、日本農村医学会全国地域リハビリテーション研究会、日本健康体力栄養学会、理学療法科学学会、日本運動器科学会、保健医療学学会
- 洲崎俊男：日本理学療法士協会、日本運動療法学会（旧　（日本）運動療法研究会）、理学療法科学学会（旧 運動生理研究会）
- 藪中良彦：日本理学療法士協会，日本ボバース研究会
- 佐藤睦美：日本理学療法士協会（学術集会査読者，座長），日本理学療法士協会 専門理学療法士（運動器）日本臨床バイオメカニクス学会，日本臨床スポーツ医学会，日

本体力医学会，日本整形外科リハビリテーション学会

- 清田直恵：Society for Neuroscience，日本臨床神経生理学会，日本生理人類学会，日本健康行動科学会，日本理学療法士協会
- 大槻桂右: 日本理学療法士協会，理学療法科学学会，日本呼吸療法医学会，日本心臓リハビリテーション学会，臨床解剖研究会，一般社団法人ペインクリニック学会
- 島　雅人：(公社)日本理学療法士協会、(公社)大阪府理学療法士会　保健福祉局　障害者保健福祉部部員、（一社）アスリートケア、日本障害者スポーツ学会、 日本ボッチャ協会、日本リメディアル教育学会
- 岩田　篤：日本理学療法士学会，日本認知神経リハビリ